

会議録

令和2年12月23日提出

会議の名称	西東京市公民館運営審議会 令和2年度第6回定例会
開催日時	令和2年11月18日(水) 18時30分から20時30分まで
開催場所	柳沢公民館 視聴覚室
出席者	委員：小野修平、西原みどり、伊藤正明、大友禾弘子、遠藤 修、伊藤邦子、伊尻由起、渡部國夫、小林道子、小沼純子、高井 正、倉持伸江 職員：高田館長、國府方館長補佐(田無分館長)、山本事業係長、三城分館長(谷戸)、長谷部分館長(保谷駅前)、星野事業係主査
欠席者	大内 俊、遠藤 淳、等々力分館長(芝久保)
議題	1 議題 (1) 主催事業について ア 令和2年度公民館主催事業報告 (資料1) イ 令和2年度公民館主催事業計画 (資料2) (2) 報告事項 ア 令和2年度第4回定例会会議録(案)について (資料3) イ 令和2年度第5回定例会会議録(案)について (資料4) ウ 行政報告 エ 公民館だより編集室報告 オ 都公連委員部会報告 (3) 意見交換 ア 西東京市公民館事業計画(中期計画)について イ 子ども対象事業について 2 事務連絡及び情報交換 (1) 都公連委員部会研修について (2) 西東京市公民館運営審議会委員研修について (3) その他 3 その他 (1) 12月定例会開催について 12月23日(水) 午後6時30分から 柳沢公民館 視聴覚室
会議資料の名称	【資料】 資料1 令和2年度公民館主催事業報告書 資料2 令和2年度公民館主催事業計画書 資料3 令和2年度第4回定例会会議録(案) 資料4 令和2年度第5回定例会会議録(案) 資料5 令和元年度西東京市公民館事業評価表
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
傍聴者	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 1名
会議内容	1 議題 (1) 主催事業について ア 令和2年度公民館主催事業報告書(資料1) ○A委員 先日参加した講座の終了後に配布された評価に関するアンケートは、氏名を記入するようになっていた。評価に関するアンケートは記名するようになっているのか。 ○公民館長 共通のアンケート様式を使用していると思う。記名の有無については、今後、検討する。

○B委員

参加した講座では、評価に関するアンケートは無記名、感想を書くアンケートは記名であった。

○副会長

個々の講座によりまちまちと思われるが、統一様式をお願いしたい。

イ 令和2年度公民館主催事業計画書（資料2）

○C委員

ひばりが丘公民館開館 30 周年記念事業公開座談会「つなごう！ひばりが丘公民館の未来へ」（ひばりが丘）について、記念事業なのに座談会が1時間30分という時間設定は短いのではないか。

○事業係長

ご意見を担当に伝え検討したい。

○D委員

家庭の教育力向上講座「子どもの自立と子どもとの絆を育む関わり方～思春期の反抗期を迎えるまでに知っておきたいこと～」（柳沢）について、父親の参加を促すような広報をお願いする。

健康教養講座「免疫力を下げない、わたしの養生法を見つけよう」（谷戸）について、最終日、雨天の場合、インターバル速歩はどのように対応するのか。

くらしに役立つミニ講習会(谷戸)について、2回の連続講座か、1回ずつの単独講座か。

ひばりが丘公民館開館 30 周年記念事業公開座談会について、YouTube にアップするなどしていただけると嬉しい。

○分館長(谷戸)

健康教養講座について、インターバル速歩は、雨天の場合は屋内で実施する。くらしに役立つミニ講習会は1回ずつの単独講座として行う。

(2) 報告事項

ア 令和2年度第4回定例会会議録(案)について（資料3）

- 令和2年度第4回定例会会議録（案）について承認

イ 令和2年度第5回定例会会議録(案)について（資料4）

- 令和2年度第5回会議録（案）については、各自内容を確認し、1週間をめどに修正意見を公民館に送ることとする。

ウ 行政報告

○公民館長

10月30日の第2回総合教育会議で子ども対象事業の一覧を資料として提出した。今年度は特に、親子で参加できる事業を多く予定しており、休日にお父さんと子どもが、地域の方と楽しく交流できるような企画を用意している。

11月6日に行われた校長会議で学校出前講座の予備調査依頼を行った。社会教育課、公民館及び図書館では、来年度、市内の小・中学校を対象に、学校出前講座の実施を検討しており、学校のニーズや実施に伴う課題等を把握するため行うものである。

11月17日の教育委員会において令和元年度の公民館事業評価報告を行った。委員からは「公民館だより」の二次評価について、「公民館だよりの内容や毎月発行を評価しているのであれば、C評価は考え直すべきではないか」「組織体制に関することは付帯意見で書けばよいことではないか。」「公民館だよりは自分も毎月読んでいるが、内容も多岐にわたりとても充実していると思う。しかし、大きな予算を伴う事業であることや、これだけの内容のものを作成するための体制を整えることは、現実的には難しいと考えるので、付帯意見にもあるようにオンラインやSNSの活用なども進めてほしい。」とのご意見をいただいた。

○E委員

学校出前講座は社会教育と学校を繋ぐ契機になる。調査期間が短いので、学校は、対応が難しいのではないと思う。

○F委員

学校出前講座については、興味深い事業がリストアップされている。西東京市カルタ、下野谷遺跡関連は個人的には取り上げたい。早速動き出しており、期限は間に合うと思われる。

エ 公民館だより編集室報告

●担当委員より報告

○副会長

4面発行号については、編集室会議を行うのか？

○事業係主査

4面で発行する場合は、1面特集を組むので、編集室会議を実施したいと考えている。

○D委員

秋に、公民館だよりと広報に関する会議を行うことを検討しているという話があったが、進捗状況を教えてほしい。

○G委員

公民館だよりは、年度の始めに目標や年間計画を立てることが必要ではないか。

○事業係主査

昨年度までは年度当初に年間計画を立てていた。今年度は、2面発行になったこと、年度当初に新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館となったこと等により、年間計画を立てなかった。広報全般に関する会議については、来年度、実施することを考えている。

オ 都公連委員部会報告

●担当委員より報告

今年度の東京都公民館研究大会は、基調講演は YouTube 配信及びDVD配布で対応する。委員部会が担当する第4課題別集会の事例発表については、都公連ホームページに掲載する。

(3) 意見交換

ア 西東京市公民館事業計画(中期計画)について

●事務局より令和3～5年度公民館事業計画素案の概略を説明後、意見交換。

○会長

中期計画の方向性は理解した。今後、具体的な事業計画が必要と考えるが。

○事業係主査

中期計画に基づいて、単年度計画を作成する予定。

○C委員

示された計画は学級・講座の計画。公民館事業計画は、学級・講座だけでなく、広報等も含め公民館が行う事業全体についての計画であるべき。また、どのような公民館をめざすのかも示されていない。これからの公民館の展望についての記述も必要と考える。

○H委員

ボリュームがある。わかりやすい表現の計画をお願いしたい。

○副会長

総花的な計画で、具体性に欠ける。要点を絞り、今後3年間で公民館は何をめざすのかを明確に示すべきである。

○I委員

中期計画で、今後3年間で公民館が目指すものを提示し、単年度計画は中期計画と関連づけて考えたらよいのではないか。

○事業係主査

第9期公運審の答申は、学級・講座についての長期計画の必要性を指摘していると理解していたため、学級・講座中心の内容となった。公民館事業全体の計画であれば、作成方法も変わ

ってくると思う。

○B委員

市民の多くは公民館を単なる貸し施設だと思っている。西東京市公民館の歴史等にふれているこの素案は、市民が公民館について理解するテキストになると思う。作成した計画は、ホームページ等で公表するのか。

○公民館長

市民にも公表するが、どのような形で公表するかについては、検討する。

○E委員

公民館のあり方と基本目標は書かれているので、今後、3年間、重点的に取り組む事業について、明確にするとよい。

○F委員

構成として、基本目標や基本方針等を最初にもってきた方がよい。

○副会長

地域との連携・協働を今後3年間の具体的な目標としてはどうか。

○F委員

上位計画である教育計画の枠を逸脱することはできないが、逸脱しない範囲で工夫することはできる。

○G委員

分量は半分に、目標を明確にして、地域の現状も加えるとよい。

イ 子ども対象事業について

○副会長

今年度は父と子を対象とした事業を含め、バランス良く企画されていると思う。

○F委員

コロナ禍の中で、子どもの興味を引く事業が組まれていると思う。

2 事務連絡及び情報交換

(1) 都公連委員部会研修について

○A委員(研修報告)

研修の要旨は以下のとおり。

「コロナ禍で、公民館は、オンラインという方法によって、場所や場面を選ばず生活に入っていけるようになった。オンライン事業は、点と点をつなぎ、新しい学びとして確立しつつある。しかし、学びは、それだけでは不十分。場所をもつ公民館は、人と人が対面する場として存在意義がある。オンラインをリアルにつなげることも大切。」

(2) 西東京市公民館運営審議会委員研修について

○会長

1月13日(水)に「公民館運営審議会委員の役割について」を主題に研修を行う。

(3) その他

12月定例会開催について

12月23日(水)午後6時30分から 柳沢公民館 視聴覚室